

持続可能な緑の循環

竹炭作りの果たす役割 ～竹林のピンチを竹炭作りで環境改善のチャンスに～

1. 竹林の保全整備



いのね
猪根の森で
竹林ゾーンを決め、
人の手を入れ管理。

毎年大きな
タケノコが
顔を出すよ

消し炭や
割れ炭は森に
戻して水質浄化や
土壌改良に

2. 竹の伐採・運搬

5年輪伐で竹炭用の
竹材を切り出し、
デーキャンプ場に運搬。

1回20本
年間120本の
竹が竹炭に
なるよ

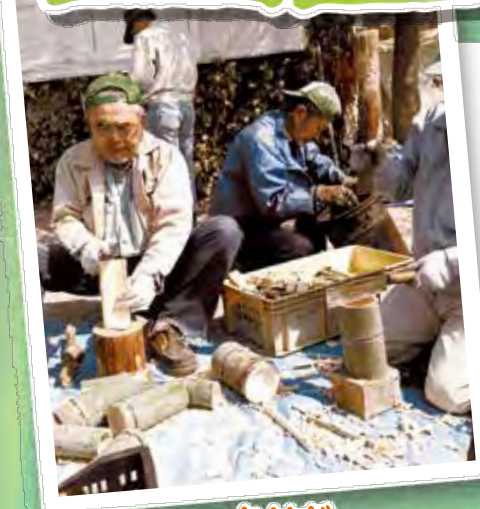


8. 竹炭の選別・利用



区民祭りなど
のイベントに
配布しています

3. 木拵と詰め込み



3cm×19cmの
竹材に割り、
ペール缶に詰め
窯に入れる
(1窯10缶)。

根気のいる
大変な
作業です

7. 窯出し

炭材出し入れ口から
ペール缶を出す。

炭 きれいな
竹林になるのは
80%くらいです



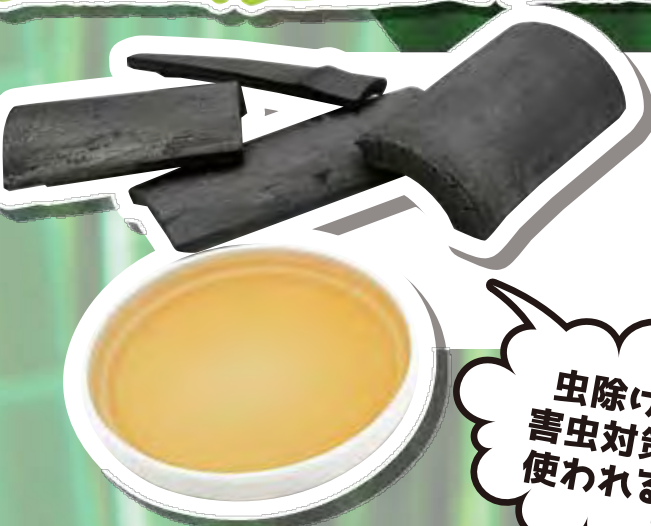
4. 仮焼き(乾燥焼き)

竹材と窯の乾燥の
ために煙の温度が
100℃くらいになる
まで口焼きする。

経験と技が
必要な作業
なんです



6. 竹酢液の採取



煙突の煙の温度が
80℃～150℃の時、
煙を冷やして竹酢液
を採取。

虫除けや
害虫対策に
使われるよ

5. 本焼き(炭化作業)

焚口に燃料を入れ、
温度を上げ、自燃する
まで加熱し、煙の
温度を200℃まで上げ、
炭化させる。

煙の臭いや
色で状態を
判断するよ



※デイキャンプ場での火気使用は10:00～16:00その間で火を焚きます。

私たちは里山保全と竹炭作りを
愛知県・大高緑地管理事務所と協働している
市民ボランティアです。

大高竹の会

活動に関心のある方、参加をお考えの方は大高緑地管理事務所にお問い合わせ下さい。

- 活動日 毎週木曜日
- 活動場所 猪根の森/デーキャンプ場 竹炭窯(愛竹窯)